

### 全国福祉用具専門相談員協会が愛称など決定

全国福祉用具専門相談員協会（山下一平会長）は「愛称」「シンボルマーク」を決定し、それらに基づいて「ロゴ」を作成したことを10月21日に発表した。

同会は「愛称」と「シンボルマーク」を7月に公募。「愛称」953作品、「シンボルマーク」207作品も寄せられた。

最優秀作品賞に選ばれた愛称は「ふくせん」で飯尾敏夫さん（39歳、愛知県）の作品。またシンボルマークは松岡光雄さん（53歳、新潟県）の作

品である。

ロゴは左のとおりで（実物は赤色）、シンボルマークは「福祉の『F』」をデザイン化し、支え、相談にのって愛と安全のサポートを行う協会を「シンボライズ」したもの。

同協会は、表彰式を来年2月21日に都内で開催する予定だ。

また会見で山下会長は、同協会の会員が受講した研修実績をポイント



化しウェブサイトで公開していくことについて、来年4月からの実施をめざす意向を示した。